

平成18年度第1回北海道・東北ブロッククラブ育成推進協議会開催報告

日時 平成18年10月1日(日) 13:00~17:00

会場 宮城県総合運動公園 グランディ21 宮城スタジアム インタビュールーム

平成18年度第1回北海道・東北ブロッククラブ育成推進協議会は、「クラブ育成推進事業における育成指定クラブやクラブ育成アドバイザーが抱える課題を明らかにし、課題解決の糸口を探るための情報の共有化と北海道・東北ブロックにおけるクラブ創設支援のためのネットワークの強化を図ること」を目的に上記の日程で開催されました。当日は、北海道・東北ブロック地方企画班5名、東北地区クラブ育成アドバイザー6名、東北地区育成指定クラブ代表者37名、岩手県体育協会1名、宮城県広域スポーツセンター1名、日本体育協会担当者2名、総勢52名の参加者により、活発な議論が展開されました。今回は、協議会開催に先立ち、午前中に既に設立した先進クラブである「NPO 法人 アクアゆめクラブ」の視察を行いました。ここでは宮城県七ヶ浜町において町のスポーツ施設の指定管理者として展開するクラブの現状と課題について理解を深めることができました。

協議会は、第1部「先輩クラブに学ぶ」、第2部「グループワーク」(A:クラブづくりの手順、B:プログラムづくり・活動拠点の確保、C:設立後の財源確保)という構成で実施され、それぞれのグループ(各グループがローテーション方式で二つのテーマについてグループワークを行った)において、具体的な課題やその解決策について活発な意見交換がなされました。



12:30	13:15	14:30	14:40	15:00	16:00	17:00
受付	開会・第1部	休憩	演習: 「協力者を増やすには」	第2部 グループワーク	グループワーク	閉会

第1部 事例紹介「先輩クラブから学ぶ」

第1部では、「エスポルチ秋田雄和」の佐藤氏、「マイスポーツひがしね」の小山田氏、「NPO 法人フォルダ」の福士氏により、それぞれのクラブの特徴ならびに現状と課題について報告して頂き、フロアとの活発な意見交換を行いました。

「エスポルチ秋田雄和」は、少年スポーツ、とりわけサッカーを核として立ち上げられたクラブであり、現在はもう一つの柱として硬式野球クラブ(ゴールデンペガサス)に力を注ぐとともに、農業体験教室、水泳教室などの活動を幅広く展開しています。会員数の増加に伴い、財源は安定し、送迎バス(すでに4台を保有)やグラウンド整備などの施設設備の充実を進めています。今後は、法人格の取得、中高年層への拡大、質の高い指導者の発掘と養成が課題として示されました。

「マイスポーツひがしね」は、託児ルールの設置、子どもの「学習時間」(山形大学理学部と

の連携)の充実など「女性・母親の目線」を大切にしているクラブです。プログラムもエアロビクス教室やジュニアダンス教室などを中心に展開され、モーニングコース、仕事帰りコースなど女性のライフスタイルに合わせたユニークなコース設定を行っています。課題としては安定した財源の確保、人的資源の確保などが示されました。

「NPO 法人フォルダ」は、インターネットをフルに活用し、会員のネットワークづくりだけでなく、プログラムづくりから指導者の確保までネット上で行っていきます。会員が発案したプログラムは、インターネットを通じて募集され、発案したもの(「言い出しっぺ」)が運営に関わるというシステムを展開しています。このことによって、プログラムの充実、運営担当者の分散を図っています。課題としては、プログラムや人材の枯渇に対する対応、安定した財源の確保などが上げられました。

質疑応答では、クラブづくりの手順、プログラムづくり・活動拠点の確保、設立後の財源確保のあり方などについて活発な議論が交わされました。特に財源確保、拠点確保という課題と指定管理者制度との関わりについて多くの質疑がありました。

演習

演習では、小松班員の指導のもと、ゲームを通してコミュニケーションを促進する方法が紹介され、参加者の方々は楽しみながら「協力者を増やす」方法について学習を進めていました。

第2部 グループワーク

第2部のグループワークでは、参加者をA、B、Cの三つのグループ(A:クラブづくりの手順、B:プログラムづくり・活動拠点の確保、C:設立後の財源確保)に分け、クラブ育成アドバイザーの進行により、第1部で確認された一般的な課題を手掛かりに、それぞれのテーマにおいてより個別的、具体的な内容について議論が進められました。

「クラブづくりの手順」のグループでは、「立ち上げまでの戦略・タイミング」「地域に存在する教育機関、体育協会などとの連携」「プログラムづくりのなかで大切にすること」「地域・会員のニーズの把握」などを柱に活発な議論が展開され、「理念の共有」「パートナーシップの確立」などについて具体的な意見が数多く出されました。

「プログラムづくり・活動拠点の確保」のグループでは、「施設の確保」「内容の充実」「指導者の確保」を柱に活発な意見交換がなされました。

「設立後の財源確保」のグループでは、「指定管理者制度」との関わりの問題を軸にしながら、「会費の設定」「スポンサーの確保」「イベント」「グッズ販売」「会員特典の強化」などについて具体的な意見交換がなされました。



(報告：北海道・東北ブロック地方企画班員 山本理人)